

1 月度 週別計画	1/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
地域情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東北は寒たららのじゃっぱ汁やどんがらが汁が食卓に</li> <li>・ 東北の雪菜、寒締め法蓮草、雪人参など寒野菜出回る</li> <li>・ 富山の氷見ぶりや日本海の寒ぷりのシーズン</li> <li>・ 瀬戸の寒さわらの旬</li> <li>・ 静岡の金目鯛の漁期に</li> <li>・ 三陸のどんこ、なめたかかれい、金華そばも旬</li> <li>・ 広島倉橋、岡山日生の牡蠣のシーズン</li> <li>・ 愛媛宇和や静岡三ヶ日など晩生みかんの旬</li> <li>・ 高知では清水さばが旬に</li> <li>・ 広島島のたんかんの旬</li> <li>・ 高菜や広島菜の本漬のシーズン</li> <li>・ 手延べ素麺、味噌等の寒仕込みの季節</li> <li>・ 茨城湖のしじみの最盛期</li> <li>・ 岐阜恵那、南信州では寒天作り</li> <li>・ 茨城沖のあんこうのシーズン</li> <li>・ 和歌山のボンカンや愛媛の伊予柑が出始める</li> <li>・ 四万十河口のシラスウナギの漁期</li> <li>・ 青森のやりにか、わかさぎ、はたての旬</li> <li>・ 大分臼杵のふぐの最盛期</li> <li>・ 下仁田、深谷ねぎ、小松菜の収穫期</li> <li>・ 和歌山のボンカンや愛媛の伊予柑が出始める</li> <li>・ 干し餅、かきもち、あらの最盛期</li> <li>・ 東海の新玉ねぎや春キャベツ出荷</li> <li>・ 土佐元旦や熊本の晩白柚の旬に</li> </ul>																																		
記念日 & PR デー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三日とろろ (3 日)</li> <li>・ ケーキの日 (6 日)</li> <li>※毎月、毎週の記念日は 97 ページに記載しています。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 糸引き納豆/明太子/かんぴょう/ひもの/さんま寿司の日 (10 日)</li> <li>・ 塩/樽酒の日 (11 日)</li> <li>・ いいにんじんの日 (12 日)</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いいいちごの日 (15 日)</li> <li>・ おむすびの日 (17 日)</li> <li>・ むか床の日 (20 日：大寒)</li> <li>・ 甘酒の日 (20 日：大寒)</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カレーライスの日 (22 日)</li> <li>・ 碧人參/アーモンドの日 (23 日)</li> <li>・ ホットケーキの日 (25 日)</li> <li>・ 中華まんの日 (25 日)</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 愛菜の日 (31 日)</li> <li>・ 麩/つば漬の日 (2 日)</li> <li>・ 乳酸菌の日 (3 日)</li> <li>・ 巻寿司/大豆の日 (3 日)</li> </ul>										
行歳時 記念日 販売企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆年明けうどん</li> <li>うどん、梅干、紅白蒲鉾、えびなど赤い具と白いうどんで新年を祝う緑区メニュー。</li> <li>◆三日とろろ (3 日)</li> <li>1 月 3 日に自然薯や山芋を食べる習慣。整腸作用や風邪予防の健康食で北日本の行事食だが、最近では全国に広がる。</li> <li>◆ケーキの日 (6 日)</li> <li>明治 12 年のこの日上野風月堂が初めて新聞にケーキの宣伝をしたことから。</li> <li>◆七草 (7 日) : 人日の節句 (せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほどけのぞ、すずな、すずしろ) が七草。七草セット以外にレトルト粥や七草を使った鍋、雑炊、七草巻寿司、七草かき揚げなども商品化を。</li> <li>◆年賀ギフト・帰省ギフト</li> <li>・ 化粧箱・箱物フルーツ (みかん、りんご、晩柑橘類、メロン、詰め合わせなど)</li> <li>・ お年賀フルーツ (苺、メロン、晩柑橘類)</li> <li>・ 郷土銘菓、和菓子、スイーツ類</li> <li>・ 地酒、地元漬物、ご当地食品など</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>◆糸引き納豆の日 (10 日)</li> <li>い (1) と (10) 引き納豆で貼って合格祈願。</li> <li>◆明太子の日 (10 日) : 福岡ふくや 1949 年の同日初めて辛子明太子を販売。</li> <li>◆かんぴょうの日 (10 日) : 栃木県干の字がーと十の組合せになることから。</li> <li>◆ひもの日 (10 日)</li> <li>名古屋のひもの専門店が伝統食品の干物の PR デーにと、干物の干をーと十に分けて 1 月 10 日を記念日に。</li> <li>◆塩の日 (11 日)</li> <li>1569 年上杉謙信が交戦中の武田側門の農民に越後の塩を送ったという故事から。</li> <li>◆鏡開き (11 日)</li> <li>正月に供えた鏡餅を下ろして、手や木槌で割り、雑煮や汁粉にして食べる行事。小豆餡やきな粉、胡麻、焼のりを関連で。</li> <li>◆樽酒の日 (11 日) : 長龍酒造</li> <li>鏡開きの日にちなんで樽酒をふるまい、飲み交わす習慣を後世にも伝えよう。</li> <li>◆いいにんじんの日 (12 日)</li> <li>高麗人参の健康性の PR デー。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小正月 (15 日) 上元：女正月</li> <li>小豆粥を食べる風習で、その年の疫病を避けるといわれることから。また、女性に正月の疲れをいやしてもらう女正月とも。</li> <li>◆いいいちごの日 (15 日)</li> <li>全国いちご消費拡大協議会が語呂合わせから記念日に。ちなみに 1 月 5 日のいちごの日は受験を控えた 15 歳 (いちご世代) にエールを送る日とか。</li> <li>◆おむすびの日 (17 日)</li> <li>『ごはんを食べよう国民運動推進協議会』が販社大震災の日を選定して記念日に。</li> <li>◆冬の土用 (17 日)</li> <li>立春、立夏、立秋、立冬前の 18 日間を土用とよび、最近では冬土用や春土用の丑の日にも熊の提案が多くなった。</li> <li>◆大寒 (20 日)</li> <li>小寒から 16 日目にあたり、1 年で最も寒い時期。酒や味噌、寒天、凍み豆腐など寒気を利用する食材の仕込みが行われる。また寒ぶり、寒さば、寒しじみや大寒玉子など「寒」の冠食材にスポットが。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>◆むか床の日 (20 日：大寒)</li> <li>大寒の寒い時期にむか床をつくるという良いむか床ができるといわれることから。</li> <li>◆甘酒の日 (20 日：大寒) : 森永製菓</li> <li>厳寒期に飲む点滴といわれるほど栄養分たっぷりの伝統の温活ドリンクを。米麹から作る手作りの甘酒もトレンドに。</li> <li>◆カレーライスの日 (22 日)</li> <li>1982 年に全国の小中学校の学校給食でカレーを出した記念日。</li> <li>◆アーモンドの日 (23 日)</li> <li>カリフォルニア・アーモンド協会制定。</li> <li>日本の成人女性の摂取量を 1 日 23 粒をめやすとしてこの日を記念日に。</li> <li>◆ホットケーキの日 (25 日)</li> <li>1902 年旭川で日本最低気温 (-41℃) を記録した日にちなみ、森永製菓が温かいホットケーキの PR デーに制定。</li> <li>◆中華まんの日 (25 日)</li> <li>日本の最低気温を記録 (旭川) した日を記念して。「あったか旭川まん」の記念日としてもこの日は登録されている。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>◆愛菜の日 (31 日) : カゴメ</li> <li>野菜を愛する日ということで作定。野菜の摂取量が少なくなりかねる時期にたくさん摂ろうと 1 (あい) 31 (さい) の語呂に合わせて。小売り各社は最近の販促に多く利用している。</li> <li>◆麩の日 (2 日)</li> <li>ふ (2) と麩 (2) の語呂合わせから。協同組合全国製菓工業会が PR デーに制定。</li> <li>◆つば漬の日 (2 日)</li> <li>鹿児島県のつば漬の PR デー。</li> <li>◆節分 (3 日) ※今年の恵方は「南南東」</li> <li>豆まきの風習は室町時代から。豆まきの福豆は年齢の数よりひとつ多く食べると病気をしなさいという言い伝えがある。ヒヤラギの枝に焼いた鰯の頭を門戸にさして、邪気 (鬼) を祓う。その年の恵方 (歳徳神のいる方) に向かって太巻き寿司を食べる恵方は今年全国の行事食に。</li> <li>◆節分そば (3 日)</li> <li>節分は旧暦では大晦日にあたる雑節で、江戸時代には年越しそばはこの日に。</li> </ul>										